

平成 2 8 年度補正予算（案）の状況

区分	課所名	ページ番号
5 月補正	障がい福祉課 スポーツ課	1-4
9 月補正	障がい福祉課 福祉保健課	5-7
1 1 月補正	障がい福祉課	8

平成28年度補正予算（5月議会）事業

1. 所管課

障がい福祉課

2. 事業名

重症心身障害児（者）を守る会第26回中国ブロック大会開催助成事業

3. 補正前の額

0千円

4. 補正額

200千円

5. 合計額

200千円

6. 事業の目的・概要

重症心身障害児（者）を守る会第26回中国ブロック大会の開催に係る経費を補助する。

（大会概要）

大会名 重症心身障害児（者）を守る会第26回中国ブロック大会

実施主体 全国重症心身障害児（者）を守る会中国ブロック、鳥取県重症心身障害児（者）を守る会

目的 中国地区各県より重症心身障がい児者の家族や関係者が集い、障がい者福祉施策に対する理解を深め、会員の結束を図ることで、重症心身障がい児者福祉のより一層の発展と充実を図ること

開催時期 平成28年10月15日（土）～16日（日）

会場 米子ワシントンホテルプラザ（米子市明治町125）

平成28年度補正予算（5月議会）事業

1. 所管課

障がい福祉課

2. 事業名

東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者アートフェスタ 2016 開催事業

3. 補正前の額

500 千円

4. 補正額

39,500 千円

5. 合計額

40,000 千円

6. 事業の目的・概要

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムとしての全国的な障がい者の芸術文化振興を有志の都道府県と連携して実施するため、「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者の芸術文化活動推進知事連盟」を設立した。同知事連盟の活動を推進していくため、東京オリパラに向けた知事連盟のキックオフイベントとして「東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者アートフェスタ 2016」を開催し、全国連携開催のスタートを鳥取県が担う。

<東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者アートフェスタ 2016>

日時：平成28年10月30日（日）

場所：米子コンベンションセンター

内容：連盟参加都道府県の障がい者アート（舞台や作品）の発表、県内の障がい者の舞台発表、プロのダンスステージ、共生社会の実現に向けた障がい者アート応援宣言、障がい理解に関する講演会、パネルディスカッション、障がいのあるプロのコンサート、アール・ブリュット作品展（10月30日（日）～11月1日（火））

平成28年度補正予算（5月議会）事業

1. 所管課

障がい福祉課

2. 事業名

鳥取県社会福祉施設等施設整備事業

3. 補正前の額

31,200 千円

4. 補正額

388,383 千円

5. 合計額

419,583 千円

6. 事業の目的・概要

社会福祉法人等の行う施設整備等に対して補助を行い、県内の障がい福祉における社会資源の整備をはかり、障がい者のサービス利用環境の向上を目指す。

平成28年度国当初予算協議案件が決定したことから、必要額の補正を行ったもの。

平成28年度補正予算（5月議会）事業

1. 所管課

スポーツ課

2. 事業名

県立体育施設バリアフリー化事業

3. 補正前の額

4,545 千円

4. 補正額

142,052 千円

5. 合計額

146,597 千円

6. 事業の目的・概要

県立社会体育施設における障がい者スポーツの環境整備を図るため、障がい者スポーツ団体、施設利用者、施設管理者が共同で実施したバリアフリー状況の点検結果に基づき、必要な改修を計画的に推進する。

施設名 鳥取産業体育館、鳥取屋内プール

主な改修内容 エレベーター設置、多目的トイレ設置（3カ所）、トイレ洋式化（19カ所）、2階車椅子観客席設置、男女シャワー室段差解消、引き戸改修（更衣室等）、正面玄関自動ドア化改修、ハートフル駐車場スロープ屋根設置等。

参考 県立社会体育施設の改修状況

平成27年度 米子産業体育館、県立武道館

平成28年度 鳥取産業体育館、鳥取屋内プール

平成29年度 倉吉体育文化会館

平成30年度 県営東山水泳場

平成28年度補正予算（9月議会）事業

1. 所管課

障がい福祉課

2. 事業名

身体障害者補助犬啓発事業

3. 補正前の額

0千円

4. 補正額

250千円

5. 合計額

250千円

6. 事業の目的・概要

身体障害者補助犬法では、不特定かつ多数の者が利用する施設の管理者は当該施設を身体障がい者が利用する場合において、身体障害者補助犬（盲導犬、聴導犬及び介助犬のことをいう。以下「補助犬」という。）の同伴を拒んではならないこととされているが、先般県内の宿泊施設で補助犬同伴拒否事案が発生するなど、いまだ事業者等の理解が十分とは言えない状況である。

そのため、啓発講演会を開催し、補助犬に係る事業者等の理解を促し、補助犬ユーザーの社会参加を今まで以上に促進する。

平成28年度補正予算（9月議会）事業

1. 所管課

障がい福祉課

2. 事業名

措置入院解除後の精神障がい者の支援体制構築事業

3. 補正前の額

0千円

4. 補正額

433千円

5. 合計額

433千円

6. 事業の目的・概要

神奈川県相模原市の障害者支援施設「津久井やまゆり園」に刃物を持った元従業員の男が侵入し、19人が死亡、27人が重軽傷を負う事件が発生した。容疑者が精神科病院に措置入院した経験があり、措置入院解除後の犯行であったため、措置入院解除後のフォロー体制について問題視されている。

現在、措置入院解除後のフォロー体制について、定められた法律や制度はなく、国で「相模原市の障害者支援施設における事件の検証及び再発防止策検討チーム」を立ち上げ、「措置入院の判断や解除の判断」、「措置入院解除後のフォローアップ」、「警察等の関係機関との情報共有のあり方」等について検討し、今秋を目処に結論をまとめる予定である。

鳥取県においても、措置入院解除後のフォロー体制等について検討を行い、県独自のマニュアルを作成する。

平成28年度補正予算（9月議会）事業

1. 所管課

福祉保健課

2. 事業名

社会福祉施設における緊急防犯対策事業

3. 補正前の額

0千円

4. 補正額

16,231千円

5. 合計額

16,231千円

6. 事業の目的・概要

神奈川県相模原市の障がい者施設殺傷事件が発生したことを受け、県内社会福祉施設の防犯対策を緊急に充実させるため、国庫補助事業も活用しながら施設・設備整備、防犯グッズ等の整備を行い、入所者、職員等の安全確保に繋げる。

○社会福祉施設防犯対策事業

社会福祉施設が実施する防犯対策を強化するために、非常通報装置、防犯カメラの設置等安全対策を行うための施設・設備整備に対して支援を行う。

○社会福祉施設防犯グッズ、機器等整備事業

国庫補助事業の対象とならない防犯グッズの整備や、少額な機器整備に対して県単独で支援を行う。

○県立社会福祉施設防犯設備・機器、防犯グッズ整備事業

県立の社会福祉施設について、施設の防犯対策の現状を踏まえ、不足する設備・機器、備品等の整備を行う。

平成28年度補正予算（11月議会）事業案

1. 所管課

障がい福祉課

2. 事業名

盲ろう者支援センター整備等事業

3. 補正前の額

23,982千円

4. 補正額

1,255千円

5. 合計額

25,237千円

6. 事業の目的・概要

盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業について、利用実績の増に伴い予算の不足が見込まれるため、増額補正を行う。